

日本農業気象学会 2009 年度第 1 回理事会議事録

日 時：2009 年 3 月 27 日（金）12：15～13：00

場 所：福島県農業総合センター

出席者：岡田，青木，大政，皆川，蔵田，小林，皆巳，田中，町村，菅谷，富士原，大野，朝倉，松岡，黒瀬，五十嵐，星，平野 北野

欠席者：後藤，小沢，吉本

（敬称略）

[会長挨拶]

[議事録確認]

1. 2008 年度第 4 回理事会議事録報告（大野，資料 1）

2010 年全国大会の日程(報告・連絡事項 6)の誤植を訂正し承認された。

[報告・連絡事項]

1. ハンドブック出版(小林)

検討中の編集方針案が以下の通り報告された。

- ・専門でないものが微気象要素を正しく計測できる知識・技術を提示することを目的とする。
- ・温度、光、ガスの計測を取り扱う。
- ・内容を生物と気象に掲載しつつ蓄積し、最終的に製本する。
- ・まず、気温の計測について今年中を目処に作成する。
- ・小林・小沢・北野各理事が編集し、40 才代の会員を中心に執筆を依頼したい。
- ・センシング・モニタリング研究部会で発行が計画されているハンドブックとの関係性については、気温計測についての編集を通じて検討する予定である。

2. 学会賞審査など（青木）

検討中の審査体制案の概要が以下の通り報告された。

- ・審査委員を受賞経験者に限定すると、限られた顔ぶれとなり判断が偏る危険をはらむので、委員会を受賞者からなるグループ(8 名)とそれにこだわらないグループ(7 名)とから構成することにする。
- ・任期については、委員会が閉鎖的になるのを防ぐため引き続き 2 年、再任可とする。受賞者のグループについては再選の者が比較的多くなると予想されるため、判断の継続性は保たれると考えられる。
- ・委員長および小委員長は受賞者のグループより選出することとする。
- ・一度推薦された業績は 3 年間にわたって審査対象とする。
- ・日本農学賞の推薦については、規程に記載が無いので現状では理事会で取り扱うことがらである。但し、委員会で審査するのがふさわしいとの意見が示されている。
- ・6 月の理事会で改めて報告する。

3. 日本農学会関係（富士原，資料 2）

日本農学会運営委員会の議事内容については既に報告済みであり、議事要旨が送付されたのでそれを資料に含めたものである。

4. その他

学会ホームページについて、会長挨拶、役員、連絡先等を更新するとともに、問い合わせ先の場所がより分かりやすくなるよう工夫する。また、ホームページ全般について

改善の意見を4月中にHP担当理事に提出する。

[審議事項]

1. 支部長会議の開催（平野）

各支部がもつ運営上の課題の解決や、支部会員の取り込み方策の検討のために、農業環境工学関連学会2009年合同大会期間中(9月15日を予定)に、支部長会議を開催する。運営上の課題等を支部長に問い合わせるアンケートを次回理事会で定めて送付し、事前に把握する。

2. その他

- 1) 学会が購入した平成20年度日本農学賞受賞祝賀会参加券(10枚)については、出席者に参加料の半額(3500円)を学会より助成する。
- 2) 2009年度第2回理事会を6月12日に開催する。